

～一人ひとりを大切に～

# 戸田ゆき子の ニューズレター



2009.1.20. No.3

発行 戸田ゆき子とともに市政を考える会  
〒284-0001 四街道市大日160-27  
E-mail yukiko7toda@yahoo.co.jp

TEL & FAX 043-421-3541  
郵便振替 00140-0-484033

## 12月議会報告

### 小池市長とともに

#### 「あたたかい市政」の実現を

明けましておめでとうございます。今年も、ご指導・ご支援をよろしくおねがいします。

12月議会は、小池新市長の初議会ということで市民の関心も高く、連日、傍聴席は満席となり、市民派市長のデビューにふさわしい幕開けとなりました。

18人の議員が一般質問を行い、多岐に渡る内容で小池新市政を質しました。一部の議員から選挙公約や市長車の廃止・報酬カットについて執拗と思われる質問もありましたが、市長は実に堂々と自分の言葉で自分の考えを一つ一つ丁寧に答弁されました。答弁はわかりやすく、誠実な人柄がにじみでて、味わい深いものでありました。

私は、10月の市長選挙で、2度の住民投票で市民から「否！」を突きつけられたにもかかわらず、市長の座に執着する前市長より、真の市民のリーダーにふさわしい人物がほしいとの思いから、小池氏を応援しました。

小池市長の誕生により、74才という豊かな人生経験を活かした「あたたかい市政」の実現が夢ではなくなりました。これからの四街道は、ハード（ハコモノ）よりソフト面（福祉・教育・子育て）に重点をおき、希望に満ちた新しい街、「一人ひとりを大切に」にする街四街道をめざし、今年もがんばります！

### 公正で正確な情報の提供を

「小池新市長の行政運営の柱「幅広い市民の声を聞いて物事を進めたい」」

四街道市は真の市民参加によるまちづくりに向かって、スタートをきりました。これは、行政にお任せ、誰かにお任せではなく、市民一人一人が考え、行動することが求め

られ、市民力が試されることです。

物事について市民が考え、判断するためには、公正で正確な情報が手元になければできません。潜在している市民力をひきだすには、市民の必要とする情報、公正で正確な情報が迅速に必要とする市民に届くよう、行政のきめ細かな情報公開・説明責任が欠かせません。形だけの市民参加ではなく、真の市民参加の実現のため、私はより一層の情報提供を強く求めていきます。

### 核兵器廃絶平和都市宣言25周年・平和と文化のつどいin四街道開催

私は、これまで市に対し、核兵器廃絶平和都市宣言25周年の平和記念事業を市として取り組むべきと要望し続けてきましたが、前市長は後ろ向きでした。

10月20日就任の小池市長は、「核兵器廃絶平和都市宣言「平和と文化のつどいin四街道」の共催を即決！

これにより、市と教育委員会と実行委員会との協働事業となったことで、実行委員を元気づけ、後援団体も83団体の多くを数えるなど、市民の間に輪が広がっていききました。さらに、市職員の協力が得られ、市民のできることを、行政のできることを役割分担しながら連携して準備をすすめました。

そして、当日、文化センター大ホールはほぼ満席となり、他市町村の方からも「四街道はすごい！」と賞賛の声が寄せられています。

実行委員の一人として関わった私にとっても、平和を願う市民や職員の思いと熱意が結集し、約1200名の市民の参加が得られたとても有意義なつどいであったと感慨もひとしおです。



会場で受付をしました

一般質問より

平和事業条例(仮称)の制定

「条例制定の検討に取り組む」との答弁がありましたので、市民とともに市民の使える条例の検討を求めていきます。

市長公約実現!

千代田保育所の指定管理者

制度導入、白紙撤回

「来年度見直す行財政改革推進計画には計上せず」と答弁。公約の一つが早々と実現されました。

学童保育(子どもルーム)の

管理運営について、

市の早急な検討を要望

本市の学童保育(市内11箇所)の管理運営は、父母の会が引き続き21年4月から2年間との条件つきで、指定管理者を受けました。父母の会からは、社会福祉協議会による運営を願う要望書が出されていますが、市の対応は遅く、早急に検討するよう要望しました。

高齢者福祉について

市民懇談会などで出た市民からの意見・要望を計画に反映させ、小規模多機能施設やグループホームなど地域密着型サービスの充実を市独自の支援を要望。

この他の一般質問

- ◎ヨッピーの運行路線の拡充
- ◎市内小中学校教育予算の充実
- ◎視覚障害者の移動に関する安全性の確保

12月議会でわかったこと

- \*人間ドック助成、平成21年7月頃実施予定。
- 対象者は、国民健康保険加入者・40才〜75才未満
- 費用の7割を市が負担。自己負担は3割。上限25000円。
- \*健康診査・検診の負担額の見直し予定
- 集団検診自己負担設定・個別検診の負担額の見直しを検討中。
- \*四街道交番を大日五差路に移転設置。21年度中完成予定
- \*議場への採決表示システムの導入について、ご意見をお寄せ下さい
- 議会運営委員会では、議会だよりに議案に対する各議員の賛否を掲載すべく、採決表示システムの導入を検討中ですが、導入には、約850万の費用がかかることが判りました。
- 賛否の掲載はすべきと考えますので導入したいところ



我孫子市の議場で

ろですが、高額なため、皆様の意見を伺いたいと思います。必要なシステムなので導入すべきか、人手が必要だが写真や〇×カードなどで賛否の確認を取る方法で対応するのがいいのか、あなたは、どう考えますか?

臨時議会速報

地権者と和解成立、駅南口整備

このたび土地所有者である旭興(株)より市へ和解の申し出があり、銀行と地権者との話がまとまり、1月19日に臨時議会を開会。市が土地に対する損失補償費ほかで約5億2千万円(約2500㎡)を支払う和解案が全員賛成で議決されました。

これにより、長年の悲願であった駅南口の整備が具体的にになりました。市民の声を聞きながら整備をすすめていけるよう力を尽くします。

あんな話・こんな話

4月から、介護報酬が3%あがるという。介護従事者の収入増となり人手不足が解消されるのなら大歓迎です。誰もが年をとり、支援が必要になるのだから、今、切実な声を上げている人の話を良く聞いてほしい。行政の仕事も、もし、自分がこうなったら、と介護を受ける立場にたつて考えることが大事ではないでしょうか。

ゆきとも会に参加しませんか

あなたは、日々の暮らしの中で困っていること・納得のいかないこと・疑問に思うことはありませんか。「ゆきとも会」はその解決の手だてを話し合う場です。「一人ひとりを大切に」を合い言葉に、会員同士が気兼ねなくコミュニケーションをとりあっています。

「福祉と文化の調和のとれた四街道モデル」の実現に向けてあなたも、傍観者から参加者になってみませんか。暮らしの中の問題を市政に反映させるよう現場第一主義の市民派議員・戸田ゆき子さんとともに「住みやすい四街道」を創りましょう。

ゆきとも会代表 伊佐勉

戸田ゆき子とおしゃべりサロン

無料

2月14日(土)13:30~文化センター201号室

ご参加、お待ちしております

Tel & Fax 043-421-3541

